

国道13号大野目交差点立体化から1年

国道13号大野目交差点が平成26年8月3日に本線部分が開通しました。

大野目交差点の立体化により……

- ・ 交通事故が **6割減少**
- ・ 国道13号断面交通量が **約5,600台/日増加**

し、地域の観光、救命活動が向上するなど、ストック効果※が発現

※ストック効果：整備された社会資本が機能する事によって、継続的に中長期的に得られる効果

【主な効果】

1. 通勤時間にゆとりが生まれました
無雪期において上山方面で **約5分短縮**
冬期において、天童方面で **約10分短縮**
2. 救急搬送経路として救急救命活動が向上しました
これまでの立体化事業の相乗効果で、上山市⇄天童市間が **約10分短縮**
3. イベントや観光の交通混雑が改善しました
モンテディオ山形ホームゲーム開催日の交通集中時でも、移動時間が **7分短縮**、利用者の **7割が混雑緩和を実感**

<発表記者会：山形県政記者クラブ、山形建設業界専門紙>

問 合 せ 先



国土交通省 東北地方整備局

山形河川国道事務所

副所長(道路)

調査第二課長

TEL 023-688-8421

おおぼ よしゆき
大 場 義 行
ふ な み しようち
舟 波 昭 一

一般国道13号 大野目交差点が開通して

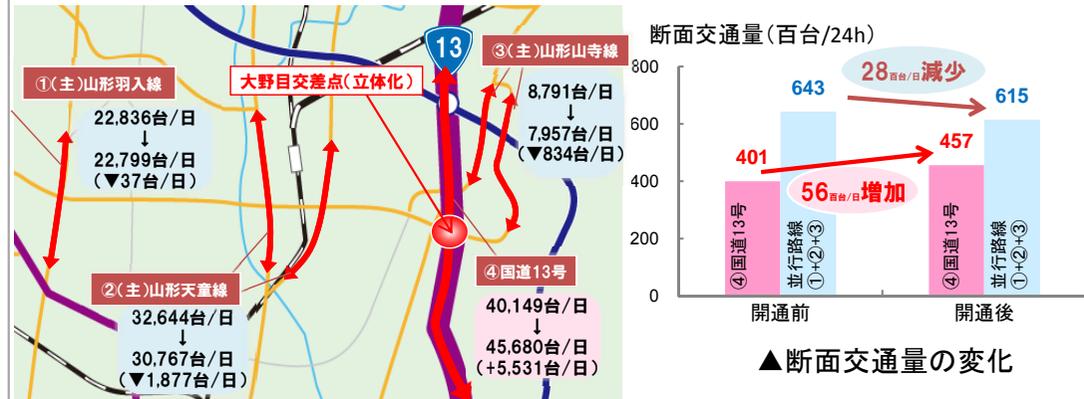
(平成26年8月3日開通)

- ①通勤時間にゆとりが生まれました
- ②救急搬送経路として救急救命活動が向上
- ③イベントや観光の交通混雑が改善



・大野目交差点の交通量が約**56百台/日増加**、並行する県道の交通量が約**28百台/日減少**。

【山形市中心部出入交通の変化】



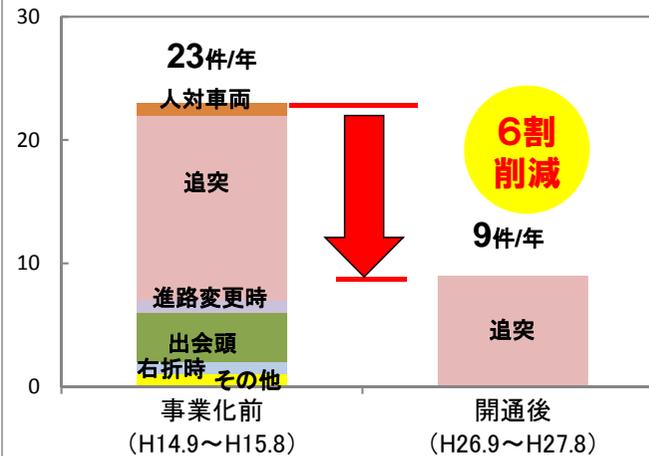
資料:開通前①② 県警トラカンH26.7月平均、③④ H26.7.8実測
開通後①② 県警トラカンH27.7月平均、③④ H27.10.15実測



開通後 (H27.9.29(火)7時台)

・交通渋滞や交差形状が複雑な為、発生していた事故が開通前に比べて**6割削減**

事故件数(件)



資料:山形警察署資料

運送業を経営する中で、事故対応費は最も削減したい費用のひとつであり、**交通安全につながる交通状況の改善**は助かる。
(運送事業者の声)

資料:ヒアリング結果(H26.11)

通勤時間にゆとり、移動時間が読みやすくなりました

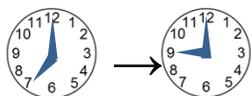
- ・大野目交差点の開通により国道13号利用の通勤時間が短縮
- ・所要時間のばらつきが少なくなり、移動時間が読みやすくなりました

・無雪期において、上山方面で約5分短縮、冬期において、天童方面で約10分短縮

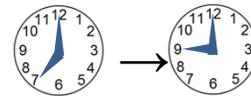


【通勤時間の短縮】

(立谷川団地口交差点～和合交差点間 約6km)

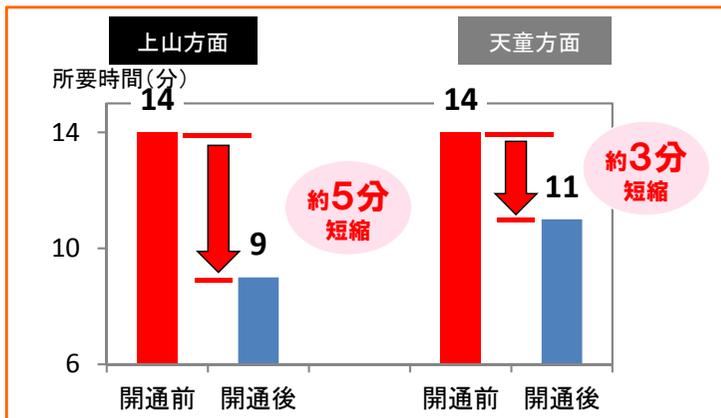


無雪期

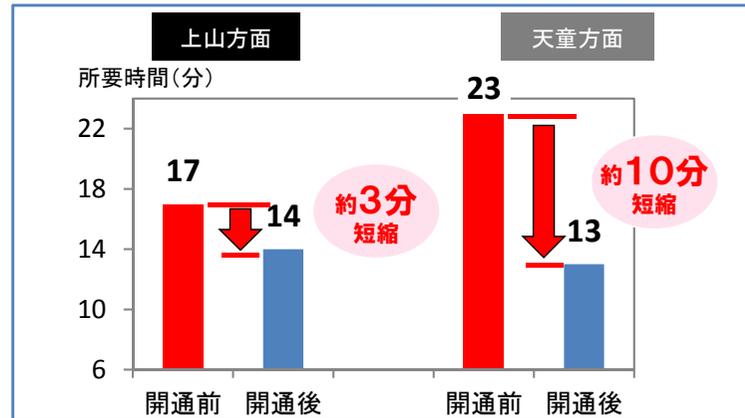


冬期

(圧雪・凍結・シャーベット時)



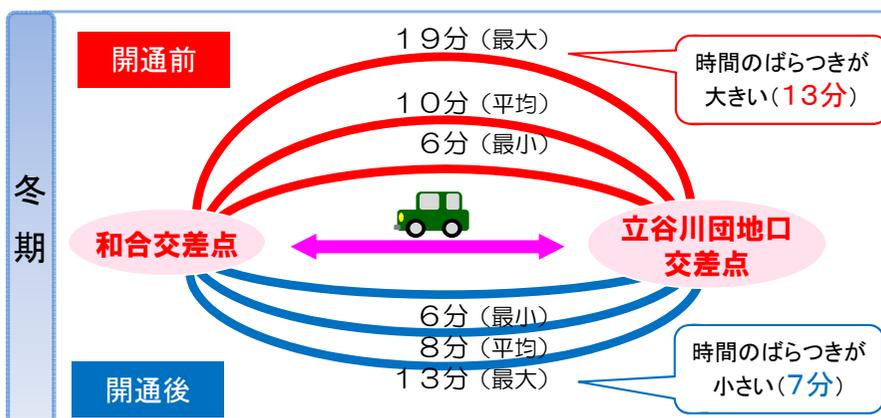
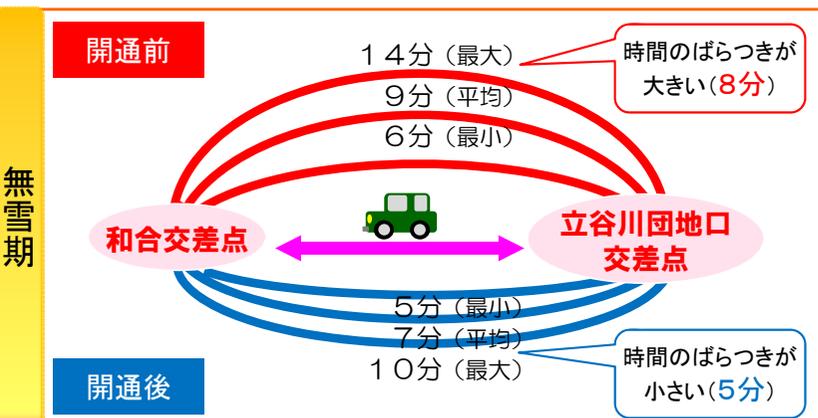
資料:開通前:実測(H15.12 7時~9時の最大時)
開通後:民間プローブデータ(H27.6平均 7時~9時の最大時)



資料:民間プローブデータ(7時~9時の最大時)
開通前:(H25.12~H26.3 平均)、開通後:(H26.12~H27.3 平均)

・所要時間のばらつきが、最大で約6分縮小し時間が読みやすくなりました

【所要時間のばらつきの変化】 (立谷川団地口交差点～和合交差点間 約6km)



会議等で山形市内へ行く場合などが多いが、開通後は時間が読めるので、余裕時間を含めると30分程度は短縮された。

(天童市内の企業の声)

資料:民間プローブデータ 平日24h [無雪期]開通前:H26.6、開通後:H27.6 [冬期](圧雪・凍結・シャーベット時)開通前:H25.12~H26.3、開通後:H26.12~H27.3

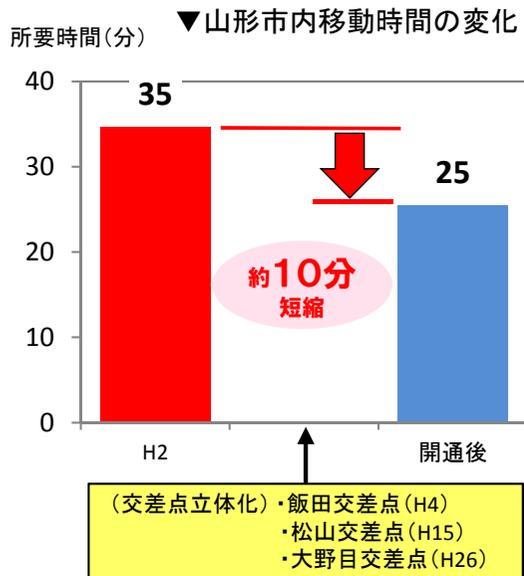
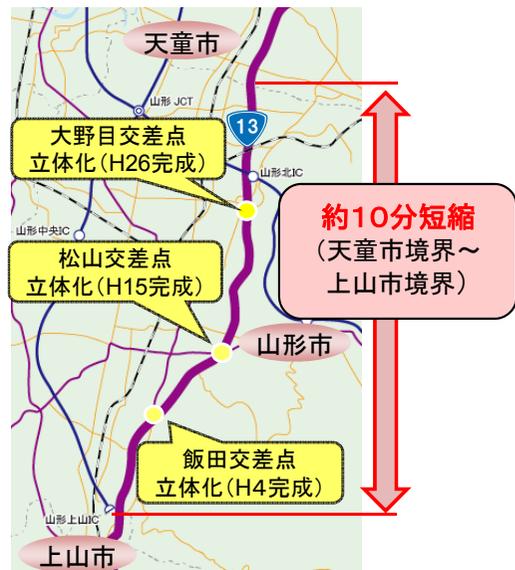
資料:ヒアリング結果(H27.7)



救急搬送経路として救急救命活動を支援

- ・国道13号はこれまでの立体化事業の相乗効果により上山市⇄天童市間の移動時間が短縮
- ・救急搬送経路として重要な大野目交差点、安定搬送、到着時間把握等の効果を発揮

・飯田交差点、松山交差点、大野目交差点の立体化事業による相乗効果により、上山市⇄天童市間が**約10分短縮**



資料: H2: 道路交通センサス、開通後: ITSプローブデータ (H27.8.4(火) 朝夕ピーク時平均) 約16km

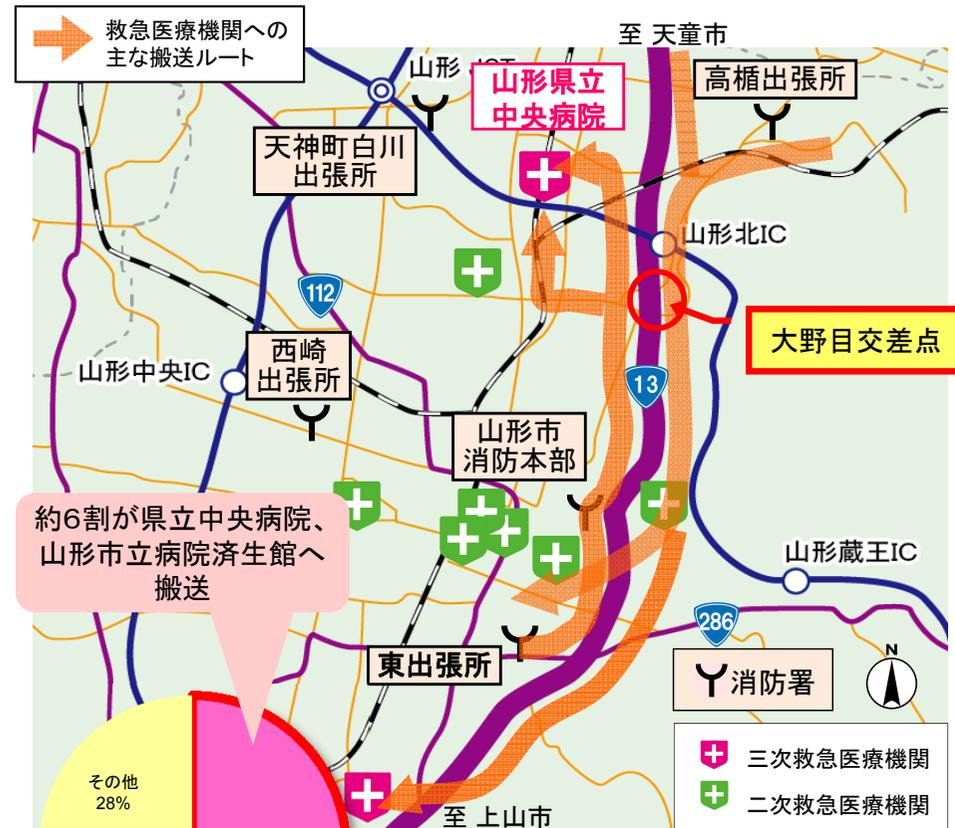
- ・上山市や東根市などに自宅を新築し通勤する者が増えた、道路が整備された事によって、**遠方からでも時間的に通勤が可能**となった。
- ・出勤時に余裕ができ、**混雑のストレス解消にも繋がった**のではないかとと思われる。
- ・飯田交差点～松山交差点～大野目交差点と長い目でみると、**燃費・経費等の面での効果は大きい**と思う。

(天童市内・山形市内の企業の声)

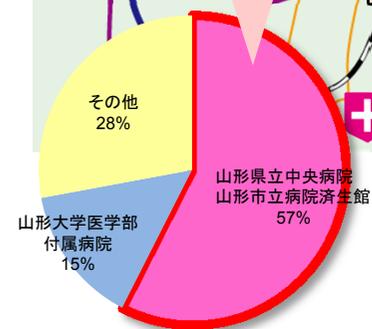


資料: 企業ヒアリング結果 (H26.12, H27.7)

救急搬送経路として重要な大野目交差点
・安静搬送、病院への到着時間把握などの効果を発揮



約6割が県立中央病院、山形市立病院済生館へ搬送



大野目交差点立体化後、スムーズに通行できるようになり、**所要時間の把握、搬送時間の短縮、傷病者の安定搬送が可能**となった。



▲救急告示医療機関別搬送人員の割合 (山形市消防本部管内)
資料: 山形県 消防年報(平成26年度刊行)

資料: 山形市消防本部アリング結果 (H27.10)

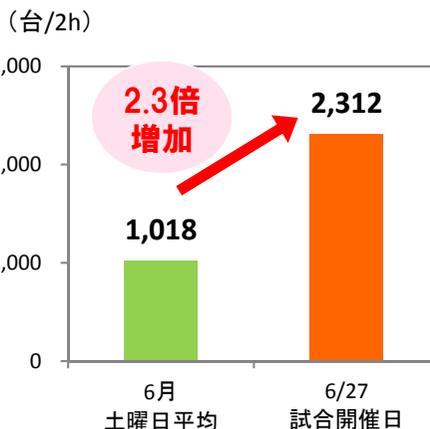
イベントや観光の交通混雑の緩和をサポート

- ・モンテディオ山形ホームゲーム開催時の交通混雑の緩和をサポート
- ・GW期間中の周辺観光、集客施設への移動時間が短縮



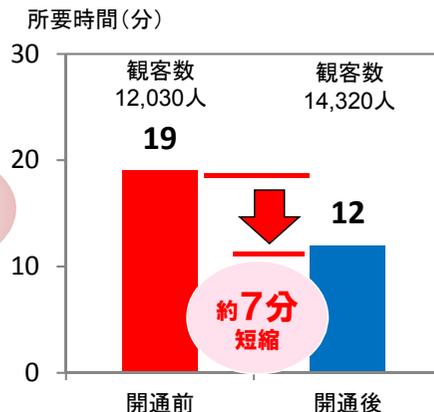
モンテディオ山形ホームゲーム開催時の交通混雑緩和をサポート

- ・ゲーム終了帰宅時は交通量が**2.3倍に増加**
- ・大野目交差点開通後は移動時間が**7分短縮**



(天童市→山形市方向)

▲ゲーム開催時の自動車交通量※1



(芳賀交差点→和合交差点 約9km)

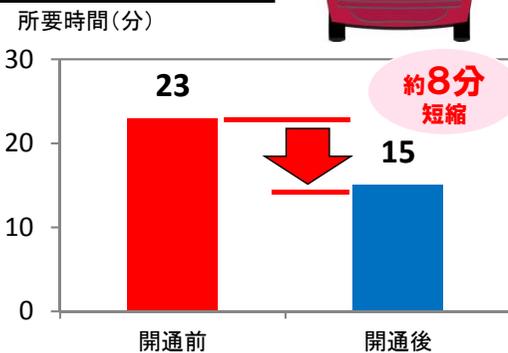
▲所要時間の短縮(試合開催日)※2

GW期間中の周辺観光、集客施設への移動時間が短縮

- ・GW期間中は交通量が**1.1倍に増加**
- ・大野目交差点開通後は移動時間が**8分短縮**



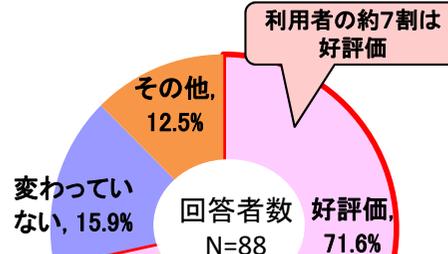
▲5月休日の自動車交通量※3



(芳賀交差点→和合交差点 約9km)

▲(GW)の移動時間の変化※4

・利用者の7割が混雑緩和を実感



- ・目的地までの時間が短縮された
- ・混雑が無くなり快適に目的地へ行けるようになった
- ・予定通りの時間で移動できる様になった...等

▲整備前後アンケート結果※5

※1 資料: 試合終了後を含む2h
開通後: トラカンデータ(天童)
(H27.6(土) 21:00~23:00)
試合日 6/27 入込観客数 1万4千人

※2 資料:
開通前: モンテディオ山形×ジュビロ磐田戦
民間プロブデータ
(H26.6.28 20:30~21:30)
開通後: モンテディオ山形×ガンバ大阪戦
民間プロブデータ
(H27.6.27 21:30~22:30)

※3 資料: トラカンデータ(山家)
9:00~17:00 日平均
GW H27.5.2~6
GW以外土、日 5/9,10,16,17,23,24,30,31

※4 資料: ITSプロブデータ
開通前: H26.5.3~6 最大時(16時台)上下平均
開通後: H27.5.2~6 最大時(16時台)上下平均

※5 資料: 利用者ヒアリング結果(H27.7.25)
(モンテディオ山形×アルビレックス新潟戦)